

南っ子じょうずな学び方

檜引南小

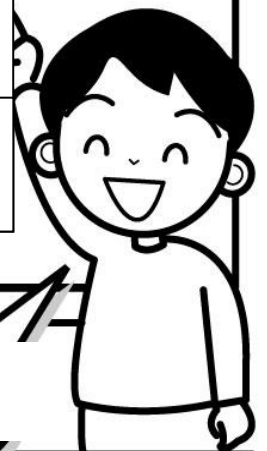
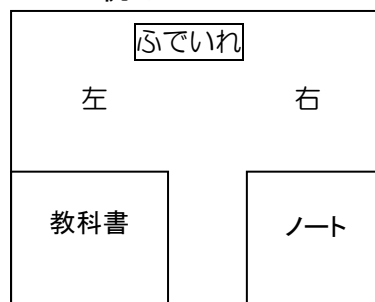
がくしゅうのじゅんび

- チャイムがなったら、すぐに教室に入り、教科書を読んだり、ノートをとるじゅんびをする。
- あいさつをする。
- ひきだしの中に入れておくもの・・・はさみ・のり・30cmものさし・色えんぴつ・クレヨン
- ふでいれの中・・・えんぴつ4～5本(1・2年生は2BかB。3年以上はHB。)、名前ペン
赤青えんぴつ(赤青ボールペン)・消しゴム★シャープペンシルは使わない。
- 道具袋・・・三角定規・コンパス・分度器

- 姿勢
1. いすに深くこしをかけ、背すじを伸ばす。
 2. 手をあげる時は、右手をまっすぐあげる。
 3. 「はい」と返事をし、いすのわきに立つ。

終わったら ○次の時間の学習じゅんびをし、休み時間に入る。
○使った道具をもとの場所にきちんとかたづける。

机の上



学び名人になろう!

話し方

- はっきり返事をする。
- みんなに聞きとれる声でさいごまではっきり話す。
- きほん
- 低学年 「はい、～です。」
「わたしは～だとおもいます。」
「しつもんですが～ですか。」
「わたしは〇〇さんと同じで、～です。」
「わたしは〇〇さんとちがって、～です。」
- 中・高学年 「〇〇さんにつけたして言います。」
「そのわけは、～だからです。」
「つまり、～です。」
「まとめていうと、～です。」

書き方

- ◎下じきをしく。
- ◎えんぴつを正しく持つ。
- せすじをのばし、左手を正しくおいて、机と目の間を30cmはなす。
- 月日・題名を書く。(5・6年は自分の考えも書こう。)
- 書き順に気をつけて正しく書く。
- 時間内に書く。
- 工夫して見やすいノート作りをする。

聞き方

- ◎口をとじてさいごまで聞く。
- 1・2年
○話のとちゅうで口をはさまないでじっくり聞く。
- 話している人を見て聞く。
- じゅんじょに気をつけて聞く。
- 3・4年
○要点を考えながら聞く。
- 自分の考えと比べながら聞く。
- 必要に応じてメモをとる。
- 5・6年
○要旨をつかみながら聞く。

読み方

- 音読をするときは、せすじをのばして両手で本をもつ。
- 「、」はひとつ、「。」はふたつ休む。
- 口の形に気をつけて、はっきりした声で読む。
- 声の大きさ、速さを考えて読む。
- 聞いている時も心の中でいっしょに読む。